

FUJITSU

shaping tomorrow with you

地方における知財活用促進タスクフォース

2015年2月27日

富士通株式会社 法務・コンプライアンス・知的財産本部
ビジネス開発部長 吾妻勝浩

(2) 調査の目的

企業のニーズに応じた支援施策の企画、検討の基礎資料に活用するため、市内中小製造業の保有技術を中心に、経営動向、直面する課題、施策への要望等、中小製造業者の実情を把握・分析する。

(3) 調査時点

平成 22 年 8 月末

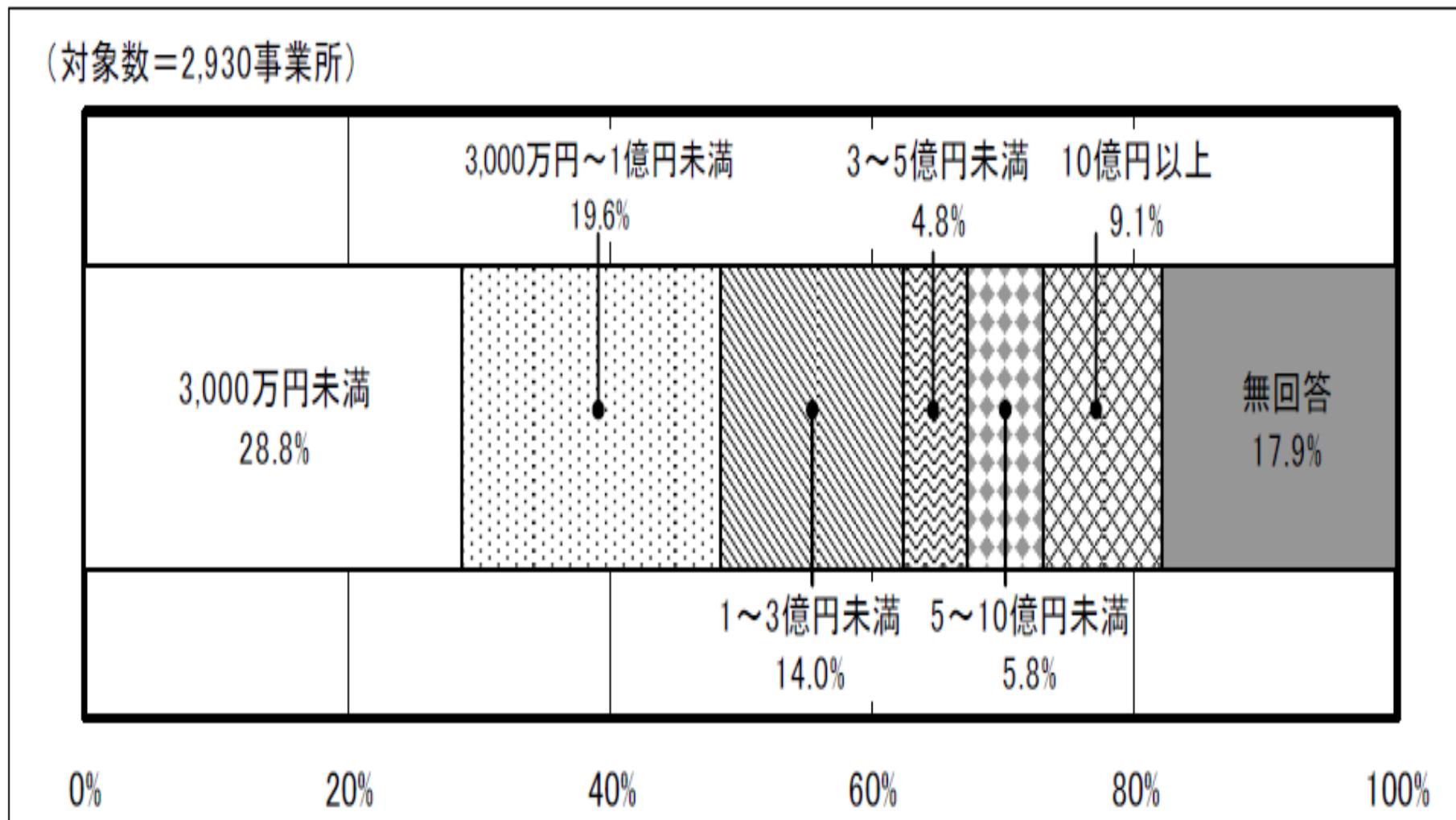
(4) 調査対象

横浜市内にある製造業の全事業所*のうち中小製造業全事業所

※「平成 18 年事業所・企業統計調査」から抽出

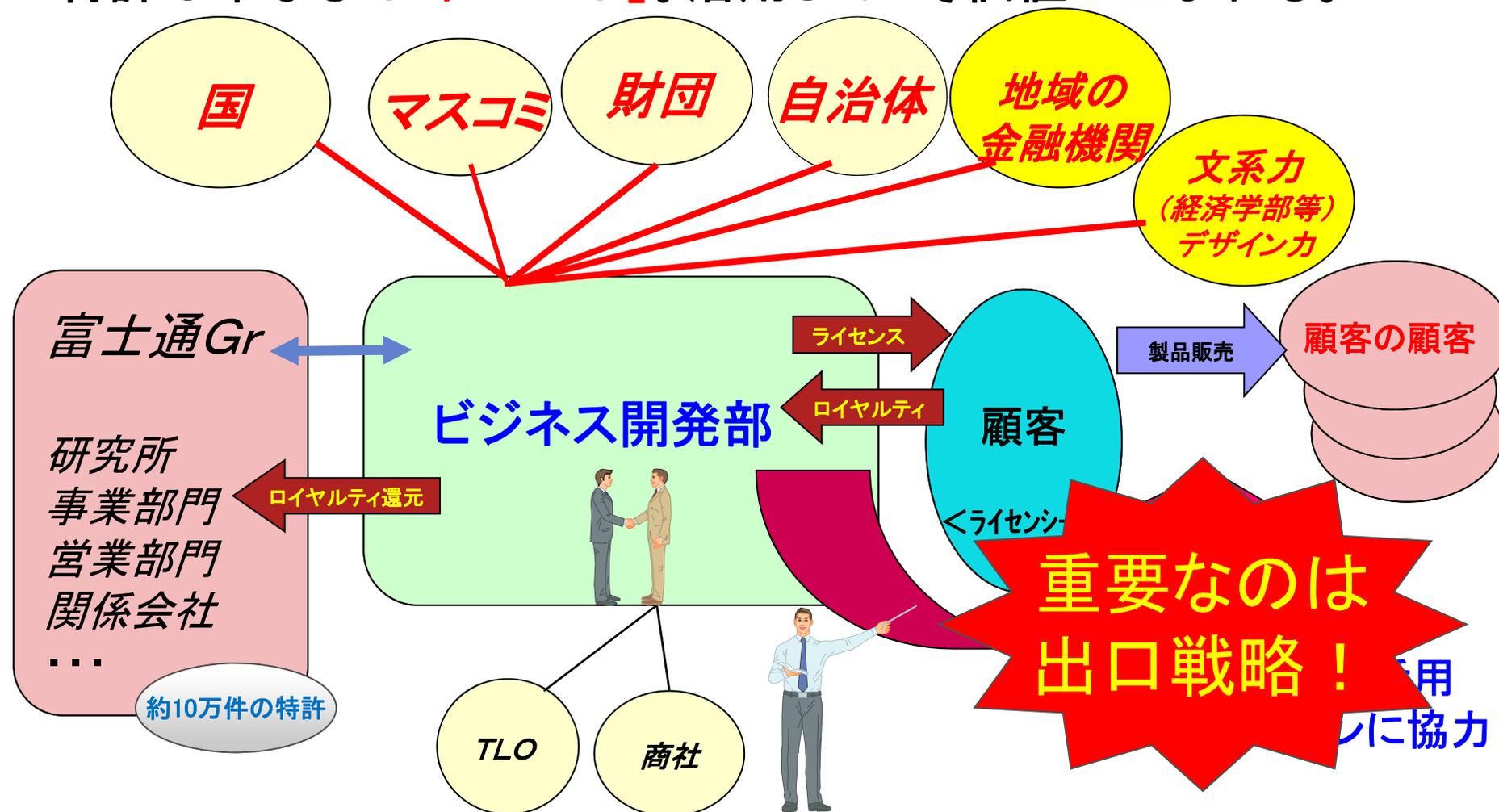
横浜市内にある 製造業全事業所	調査対象 (中小製造業全事業所)	調査対象外 (大企業全事業所)
7,417 事業所	7,284 事業所	133 事業所

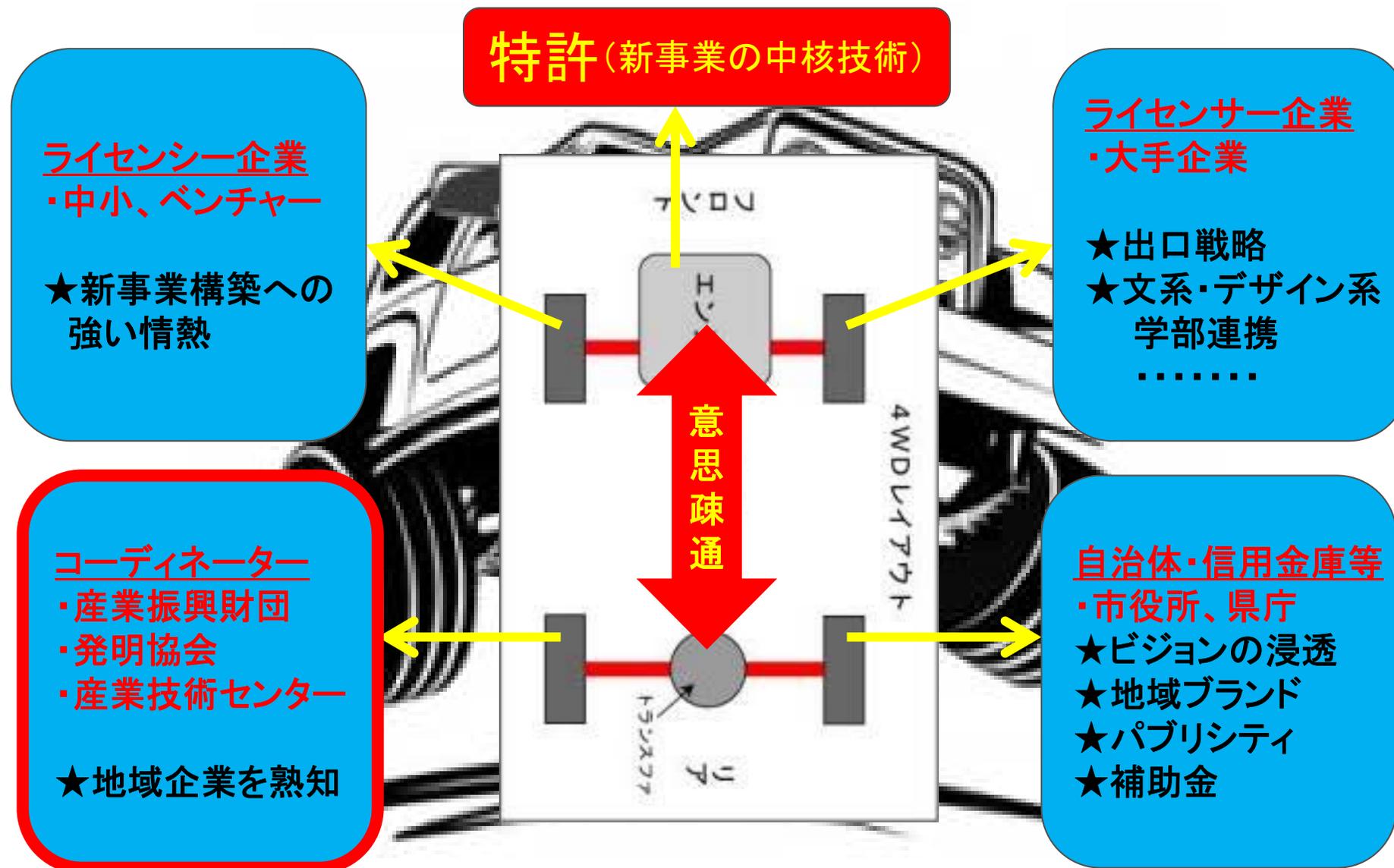
図表 5. 会社全体の売上高規模



中小企業向け知財活用で重要な事は

- ライセンス契約締結が**ゴール**ではない**(スタートである！)**
- 「**顧客の顧客**」を考える
- 特許は単なる「**ドキュメント**」。活用してこそ価値が生まれる。





地域で新ビジネスを創るには ～イベントからの脱却～FUJITSU



- 自治体、関係機関
- ◎ライセンサー企業
- ライセンサー(大手等)

- 自治体、関係機関(財団、金融機関)によるライセンサー企業のニーズ調査
- 上記に伴う有償解放技術の検索、社内承認、技術説明資料の作成
- ◎○● 特許を「核」とした新商品開発ディスカッション(複数回実施)
- ◎○● 試作及び試作評価
- ◎○ 実施許諾契約(一時金、ロイヤルティ)下打合せ
- ◎○● 実施許諾契約会議 → ● 実施許諾契約書(案)作成(複数回)
- ◎ 補助金の検討
- ◎○ 新商品上市までのスケジュール作成、進行状況の確認
- ◎● パブリシティ活用(記者会見、TV、広報誌・・・)
- 地元ブランド認定
- ◎○● 新商品の出口戦略



2013. 12. 4
新都心ビジネス交流プラザ

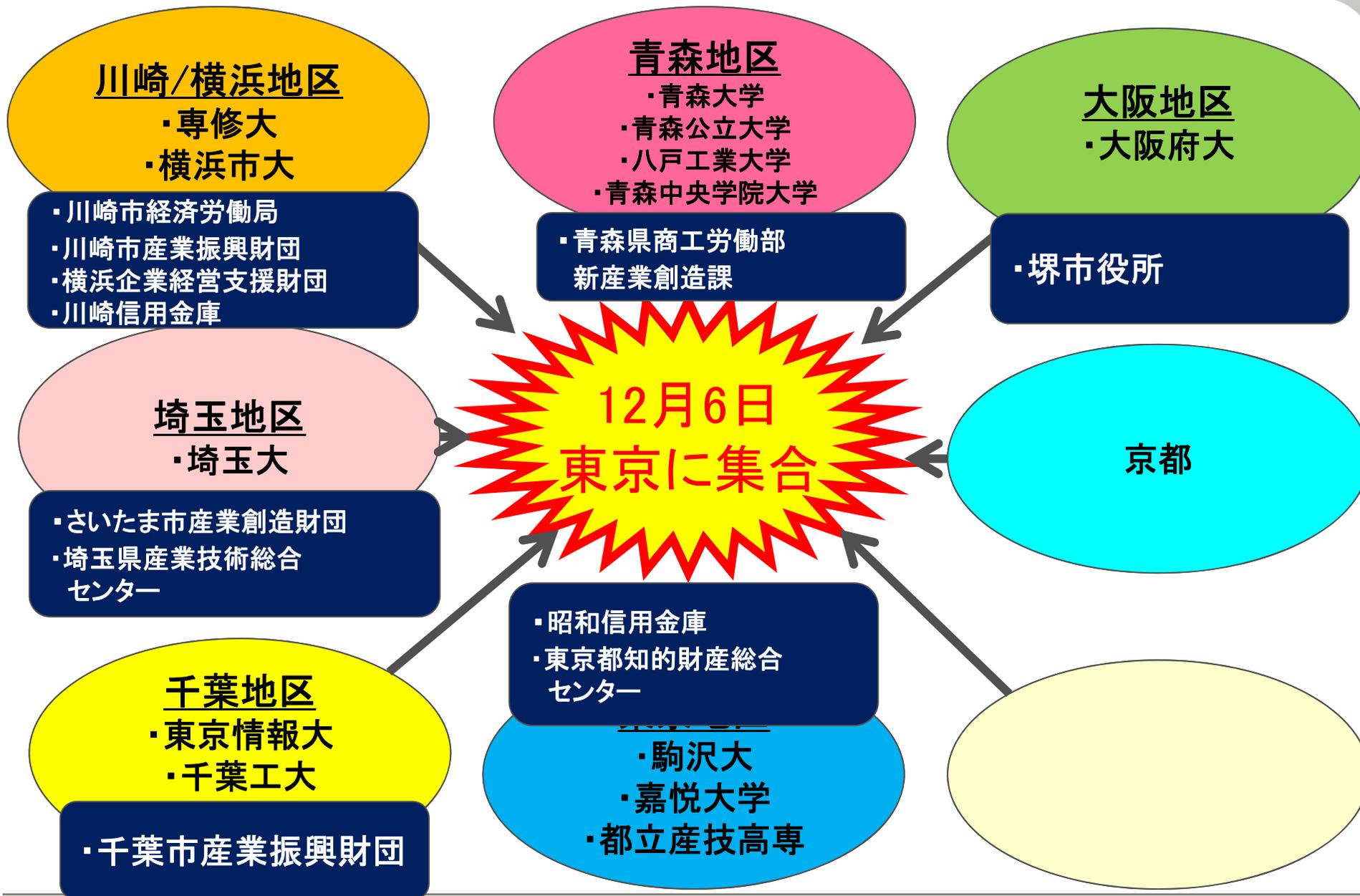
◎2013. 12. 17 18:00～
NHK「首都圏ネットワーク」で放送。

◎日本時間の1/22(水)午前11時～
NEWSLINEにて世界140カ国に配信。
その後、NHK WorldのHPにて掲載。



- ① 知財を活用した中小企業向け新規ビジネスの創生
 - ・単なるアイデア出しだけでなく、新商品の上市、収益の獲得まで考慮する。
- ② 生きた社会学習
 - ・中小企業経営者、金融機関、自治体、大手企業関係者と活動を共にする事で、生きた経済を学び、社会貢献を行う。 →就職や自分の将来を考える場とする。
- ③ 地域の活性化に寄与 → 税収UP！
- ④ 将来の事業拡大(ライセンス)を睨んだ融資先の獲得
- ⑤ ロイヤルティ収入による新たな研究開発の推進

文系・デザイン系学部連携全国大会



2014年 全国大会プレゼンテーションの様子

FUJITSU



← 嘉悦大学
(コード埋め込み技術)



横浜市立大学 →
(集音マイク技術)

2014年 全国大会 審査員及び会場の様子

FUJITSU



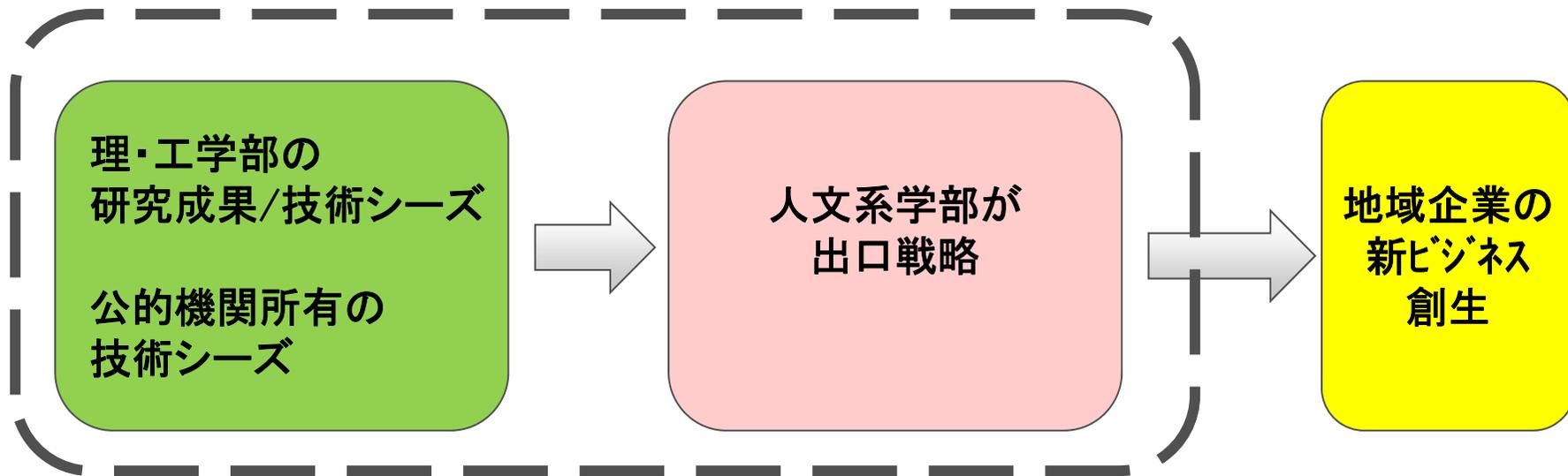
2014年 全国大会優勝 埼玉大学経済学部

FUJITSU



大学と連携し思う事

総合大学内 / 近隣大学連携 で地域新ビジネスを創れるはず



地域の中で、「将来の起業家」を育成できないか？
勿論、アクティブラーニングを使って。

八千代銀行お取引先様知財活用セミナー

2013. 6. 17 FUJITSU

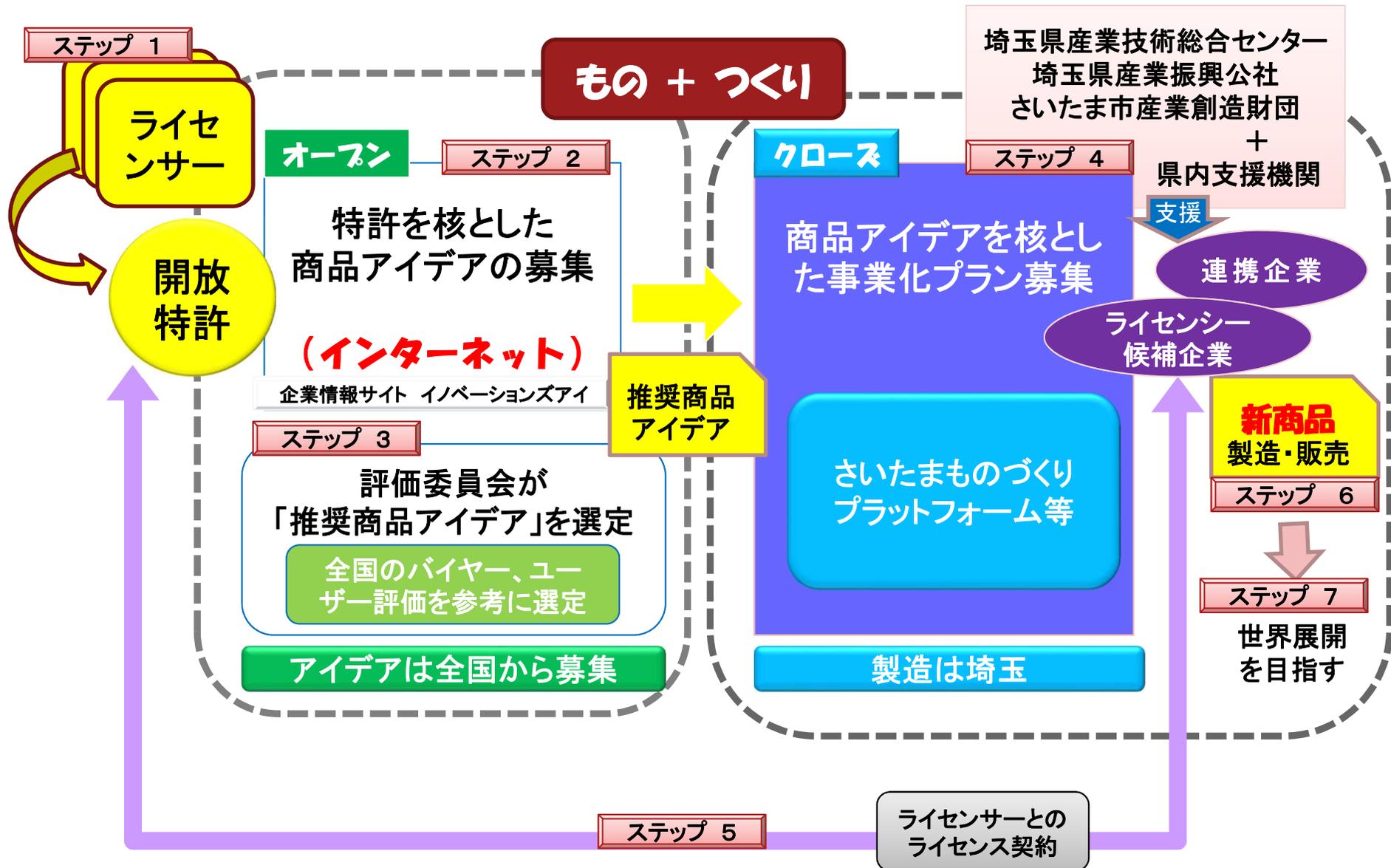


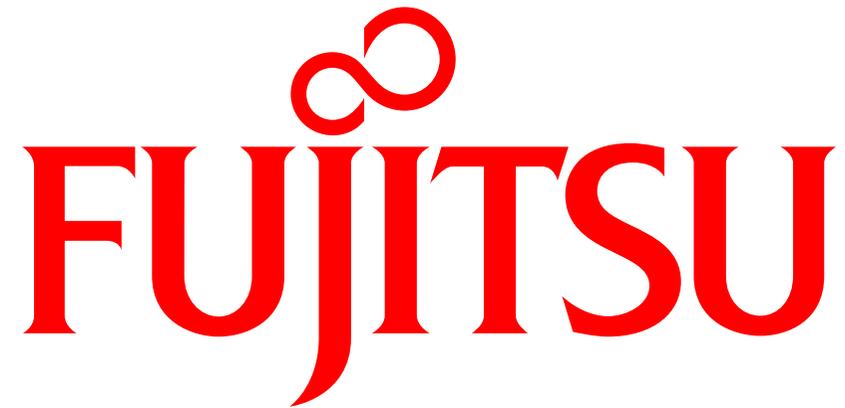
富士通川崎工場
テクノロジーホール見学

八千代銀行
営業推進部長様挨拶

セミナー風景
プレゼンルーム







shaping tomorrow with you